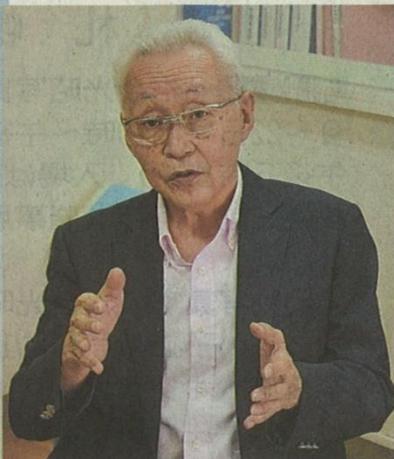


# ひと

来春、道外の高校から地域留学生2人を1年間受け入れる鷗川高で、6月から事業を推進する非常勤職員として、留学希望者と同校との橋渡し役を担っている。「前例のない事業。学校や地域の魅力を高校生にうまく伝える方法を



おおくほ かずき 大久保 一樹さん(66)

一恵庭市

模索してきた」と話す。釧路管内の小中学校で、事務職員を40年近く勤めた。今年3月に教員事務補助スタッフとして勤務していた鷗川中央小の校長から地域留学生事業の職員公募の話聞き、「町や学校の役に立てれば」と応

募した。来月から留学希望者の選考が始まる。「留学生の受け入れは鷗川高生にとって刺激になり成長につながる。地域でも豊かな発想で新たな魅力を発見してくれるはず」と期待を込める。(小宮実秋)

地域留学生に魅力伝えたい